

準備作業に一致団結



左) 竹やぶから竹を運ぶ 右上) 倉谷西公民館で打ち合わせ 右下) 竹やぶでは 10 人が切り出し作業



左) 竹を川へ降ろす 右上) 杭を打ち込む 中上) 竹の節を削る 右下) 竿でひもを引っかけて対岸へ渡す



ひもを結んでこいのぼりを固定

指示を出す國光さん



# 天清川のこいのぼり

## インタビュー

こいのぼりを見た人が元気になれるように

「今年もこいのぼりを揚げるんですね、楽しみです」という声も増えてきました。イベントや取り組みをすれば、きっとにぎやかな地域になると始めた天清川のこいのぼりも今年で18年を迎えます。傷んだこいのぼりはテープを貼って補修していますが、寄付してもらうこともあります。もし不要なこいのぼりがあれば、会員のヤマゾエクリーニング余内店の山内さんへ届けてもらえるとありがたいです。

最近コロナなど暗い話題も多いですが、この地域の活動を見て元気になってほしいですね。

倉谷西やろう会の 中川 章さん(左) 國光 昭さん(右)



こいのぼりを揚げて地域に活気を  
「天清川にこいのぼりを泳がせよう」と活動する倉谷西やろう会。隣人同士のつながりが薄れてあいさつも交わさなくなったり町内を、声を掛け合える明るく活気がある地域にしたいという思いから平成17年に会を発足。何でも「やろう」との気持ちから倉谷西やろう会と命名しました。毎年4月下旬〜5月中旬に揚げる色とりどりの天清川のこいのぼりは、コロナ禍でも途絶えず泳ぎ続けてきました。竹を切り、川に運び、固定するなどこいのぼりを揚げるために一致団結して汗を流す倉谷西やろう会の活動に密着しました。

《広報広聴課》